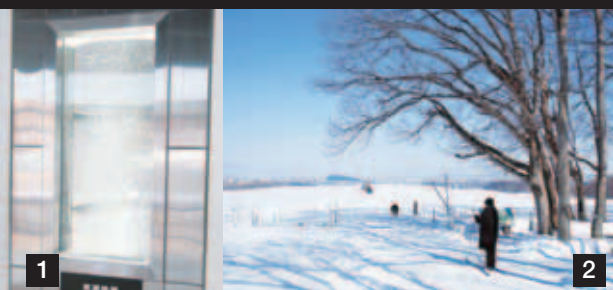


冬の自然がつくる美しさに
まっすぐに包まれます。

美しい

雪の結晶の顕微鏡写真(左上と右下は樹枝状、右上は角板状、左下は扇状)。
雲の中の水蒸気が多ければ多いほど複雑な形になっていく。



①直径1メートル、高さ18メートルの筒の中で人工的に雪をつくる、青少年科学館の人工降雪装置。

②静けさが広がる羊ヶ丘展望台の雪原。新雪は空気を含んでスポンジ状の構造をしており、周囲の音を吸収する性質がある。

「雪は天から送られた手紙」

雪

これは、雪の結晶の美しさに魅せられた北大の中谷宇吉郎博士(1900~1962)が残した言葉。結晶の形を見れば上空の気象状況が分かるという意味です。

雪は、微小な氷の粒が空気中の水蒸気を取り込みながらできます。温度や湿度のわずかな違いで結晶の形が変わるため、同じ形の結晶は一つとしてないといわれています。

舞い降りる自然の芸術

結晶の中でも、最も繊細な造形美を見せるのは樹枝状結晶と呼ばれる形。上空の湿度が高く、かつ冷え込んで風が弱い日に降る雪は、この形をしている可能性が高いといえます。他の形に比べて結晶が大きいのも特徴で、肉眼でもその美しさを鑑賞することができます。

雪の美しさを科学的に解き明かそう

青少年科学館 **五十嵐 浩司さん**

雪の結晶の形は千差万別ですが、全て基本は六角形です。それは水分子の持つ特殊な性質がもたらすもの。雪は科学的に非常に複雑で、神秘的な存在なんです。青少年科学館には、世界初の人工降雪装置があり、雪の成り立ちを分かりやすく学ぶことができますよ。



星

一年で最も美しい星空

郊外に行くとき、満天の星を見られる札幌。特に冬は、「冬の三大角」など1等星以上の明るい星が多い上、冷たく澄んだ空気が星の輝きをいっそう美しく見せるため、一年で最も華やかな星空が広がります。また、高緯度に位置する札幌は、東京などとは星の見え方が異なります。札幌では「北斗七星」が地平線の下に沈むことはなく、一年を通して見る事ができるのです。



①札幌の緯度に合わせて作成した青少年科学館の星座早見盤(500円で販売)。
②特に星が美しく見える南区滝野の夜空。

雪と星について詳しく知ろう

青少年科学館

星の観望会や教室については13ページをご覧ください。
所在地厚別区厚別中央1の5 開館日時午前9時30分~午後4時30分
(入館は4時まで。12/27(月)~1/4(火)は休館) 詳細☎892-5001

札幌のここが好き。

本誌7月号で、札幌の自慢したいところを募集した結果、市民の皆さんから多くの札幌自慢が寄せられました。その中で、多く挙げられた場所を紹介します。

大通公園

・大通公園のおかげで、街がすがすがしく感じられます。
(厚別区・40代・女性)

・大通公園12丁目のバラ園はとてきれいですよ。
(中央区・30代・女性)

・雪まつりやよさこいなど北海道を代表するイベントが楽しみです。
(中央区・10代・男性) など

モエレ沼公園

円山公園

・趣味のサイクリングで円山やモエレ沼周辺へ行くと、札幌は本当に自然が豊かだと実感します。
(東区・20代・男性)

・冬の大会山ジャンプ競技場から見る風景は素晴らしいです。
(北区・40代・女性) など

その他のおすすめ場所

・西区福井の五天山公園は、パークゴルフや200段近くある階段でいい汗を流せるし、水車小屋や小川もあって癒やされる場所です。
(厚別区・50代・女性)

・国道230号の簾舞~小金湯の景色がおすすすめ。特に冬は雪に抱かれた山々が見渡せて見事です。(南区・60代・女性)